

CCDバーコードリーダー
BC-BR900L

ユーザズ・マニュアル
(設定マニュアル)

Ver1.22

《対象製品 S/N：1247000000 以降》

BUSICOM

【目次】

Chap.1 System Information	
工場出荷時の初期設定	1
Chap.2 System Installation	
2.1 インターフェース選択	1
2.2.1 キーボード言語	2
2.2.2 キーボード・ウェッジ機能	2
2.2.3 キャラクタ間送信デレイ	3
2.2.4 ターミネータ(終端データ)	3
2.3 スキャン・モード	4
2.4 ブザー設定	5
2.5 キャラクタの付加	5
2.6 その他の設定	6
Chap.3 BAR-CODE INSTALLATION	
3.1 UPC-A	7
3.2 UPC-E	9
3.3 EAN-13	11
3.4 EAN-8	13
3.5 Code 39	15
3.6 Codabar(NW7)	16
3.7 Code 93	18
3.8 Code 128	19
3.9 Interleaved 2 of 5(ITF)	21
3.10 Industrial 2 of 5	22
3.11 Matrix 2 of 5	23
3.12 China Post Code	24
3.13 MSI / Plessey	25
3.14 Code 32	26
3.15 Code 11	27
【付録 A】	
ASCIIコード設定	28
ASCIIテーブル	29
■旧バージョン(Ver.1.0*)からの変更箇所■	
※シリアルナンバーが 1247000000 より前の製品を併用 される方はご一読ください	
30	

■本書印刷時のご注意■

設定用バーコードは、印刷品質によっては線が荒れて読取が困難になる場合があります。お使いのプリンタの性能に応じ、高画質モードで印刷されることをおすすめいたします。



Chap.1 System Information



Set All default
(工場の初期設定に戻す)



S/W Version
(スキャナのバージョンを見る)

工場の初期設定の値は < > で示されています。
※2.1 インターフェイス選択 と 2.2.1 キーボード言語 のみ、弊社で
設定変更して出荷しています。

Chap.2 System Installation

2.1 インターフェイス選択

インターフェイスを変更した場合は、スキャナを再接続し PC の再起
動を行ってください。



<Keyboard>

工場の初期設定は
Keyboard ですが、**弊社
では USB に再設定して
出荷しています。**



USB

上記で初期化した場合
は再度 USB 設定を行っ
てください。



2.2.1 キーボード言語



<U.S.A>



Italian



Spanish



French



Germany



Japan

工場の初期設定は U.S.A ですが、
弊社では Japan に再設定して出荷しています。
初期化した場合は、再度 Japan 設定を行ってください。

2.2.2 キーボード・ウェッジ機能

Function Key Emulation



<OFF>



ON

KB Emulation



<OFF>



ON

ALT Mode



<OFF>



ON





Caps Lock



<OFF>



ON

Num Lock(テンキーボード送信)



<OFF>



ON

Num Lock の OFF はフルキーボードの信号で、ON はテンキーボードの信号で送信されます。

(数字入力のオン・オフを切り替える機能ではありません)

2.2.3 キャラクタ間送信ディレイ(Default: 00h)



付録 A で設定 (00h - 64h)

※h=16 進数

2.2.4 ターミネータ(終端データ)



None



<CR>



Tab



ESC

CR+LF に設定する場合は、ターミネータを<None>にし、P5~6 のポストアンブル設定で、CR と LF を付加してください。



2.3 スキャン・モード



Trigger On/Off

(トリガーを押している間点灯、読取後 OFF)



<Trigger On/Good read off>

(トリガーで ON 読取後 OFF)



Continuous/Trigger Off

(トリガーを押して ON・OFF)



Testing

(テスト・モード)



Continuous/LED always On

(ポインターとして LED 常時点灯、トリガーで読取)



Continuous/Timeout Off

(タイムアウトで OFF)



Flash On

(点滅)



Continuous/No Trigger

(電源投入時から常時点灯)

タイムアウト・モードで使用する場合は時間設定方法:

1. “設定開始”と“Continuous/Timeout OFF”のバーコードをスキャンする。
2. 付録 A の ASCII コード設定で 2 桁 (16 進数) をスキャンする。
3. 2 桁の後に“Confirm”をスキャンする。
4. “設定終了”バーコードをスキャンして設定完了。
5. 設定単位は秒です。例: 約 1 分の場合は 16 進数で 40。(タイムアウトのデフォルト値は約 3 分、16 進数で B4 です)





2.4 ブザー設定

ブザー音の高さと長さを調整することができます。付録 A の ASCII コードから 2 桁 (16 進数) をスキャンして設定してください。

※h=16 進数

ブザー音の高さ (Default: 09h)



付録 A で設定 (00h~10h)

ブザー音の長さ (Default: 04h)



付録 A で設定 (00h~10h)

Power On Tone

(電源投入時のブザー)



<ON>



Good read Beep

(読取時のブザー)



<ON>



OFF

2.5 キャラクタの付加

プリアンブル/ポストアンブル:

バーコードデータの前後に最大で 10 個の ASCII を置くことができます。(データの前後に文字を付加する必要がない場合は、デフォルト値の 00 のままにしてください)

フォーマット:

Preamble Character (プリアンブル文字)	Barcode	Postamble Character (ポストアンブル文字)
----------------------------------	---------	------------------------------------

プリアンブル文字/ポストアンブル文字の設定:

1. “設定開始”と、“プリアンブル設定”または“ポストアンブル設定”のバーコードをスキャンする。
2. 付録の ASCII テーブルで、付加したい文字の ASCII コード (上・左 2 桁)を確認する。
3. 付録 A の ASCII コード設定で該当する 2 桁のバーコードをスキャンする (複数の場合は繰り返し)。
4. コード設定の最後に“Confirm”をスキャンする。
5. “設定終了”をスキャンする。



プリアンブル設定 (Default: 00)



付録 A で設定

ポストアンブル設定 (Default: 00)



付録 A で設定

Code ID の送信



Truncate Leading Digit ON



ON にすると、バーコードデータの先頭にコードを識別する ID を付加して送信します。

<OFF>

Code ID のデフォルト値

UPC-A ----- F	Interleaved 2 of 5 (ITF) - N
UPC-E ----- G	Industrial 2 of 5 ----- O
EAN-13 ----- H	Matrix 2 of 5 ----- P
EAN-8 ----- I	China Post Code ----- Q
Code 39 ----- J	MSI / Plessey ----- R
Codabar (NW7) -- K	CODE 32 ----- S
Code 93 ----- L	Code 11 ----- T
Code 128 ----- M	

2.6 その他の設定

スキャン精度:

送信までのスキャン確認回数を 1 回または 2 回に設定することが可能です。2 回にすると、よりスキャンの正確さが増し誤読を減らすことができます。

スキャン確認回数



<1 回>



2 回





Chap.3 BAR-CODE INSTALLATION

3.1 UPC-A

読取許可



OFF



<ON>

Code ID (Default:F)



<20h-7Eh>

UPC-A を EAN-13 に変換



<OFF>



ON

チェックキャラクタ送信



OFF



<ON>

先頭の 0 を切捨て



<OFF>



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-0Dh>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-0Dh>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 2 桁の場合=0・2・Confirm



3.1 UPC-A

アドオンの読取 (2 桁/5 桁)



<None (読取なし)>



2 digit (2 桁のみ読取)



5 digit (5 桁のみ読取)



2 or 5 digit

(2 桁・5 桁読取)

アドオン読取を許可した場合、アドオンコードの付加が必須となり、アドオンが付かない 12 桁の UPC-A コードは読取できなくなります。ご注意ください。





3.2 UPC-E

読取許可



OFF



<ON>

Code ID (Default: G)



<20h-7Eh>

UPC-E を UPC-A に変換



<OFF>



ON

チェックキャラクタ送信



OFF



<ON>

先頭の 0 を切捨て



<OFF>



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default: 00h)



<00h-08h>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default: 00h)



<00h-08h>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 3 桁の場合 = 0・3・Confirm



3.2 UPC-E

アドオンの読取 (2 桁/5 桁)



<None (読取なし)>



2digit (2 桁のみ読取)



5digit (5 桁のみ読取)



2 or 5 digit

(2 桁・5 桁読取)

アドオン読取を許可した場合、アドオンコードの付加が必須となり、アドオンが付かない 8 桁の UPC-E コードは読取できなくなります。ご注意ください。





3.3 EAN-13

読取許可



OFF



<ON>

Code ID (Default::H)



<20h-7Eh>

チェックキャラクタ送信



OFF



<ON>

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-0Dh>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-0Dh>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 4 桁の場合 = 0・4・Confirm

ISBN 変換



<OFF>



ON

ISBN 変換をオンにすると、13 桁の書籍 JAN コード (2 段バーコードの上段) を、10 桁の ISBN コードに変換して送信します。



3.3 EAN-13

アドオンの読取 (2 桁/5 桁)



<None (読取なし)>



2 Digit (2 桁のみ読取)



5 Digit (5 桁のみ読取)

2 or 5 Digit
(2 桁・5 桁読取)

アドオン読取を許可した場合、アドオンコードの付加が必須となり、アドオンが付かない 13 桁の EAN-13 コードは読取できなくなります。ご注意ください。





3.4 EAN-8

読取許可



OFF



<ON>

Code ID (Default::I)



<20h-7Eh>

チェックキャラクタ送信



OFF



<ON>

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



付録 A で設定<00h-08h>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



付録 A で設定<00h-08h>

アドオンの読取 (2 桁/5 桁)



<None>



2 digit



5 digit



2 or 5 digit

アドオン読取を許可した場合、アドオンコードの付加が必須となり、アドオンが付かない 8 桁の EAN-8 コードは読取できなくなります。ご注意ください。



3.5 Code 39

読取許可



OFF



<ON>

Code ID (Default::J)



(20h-7Eh)

チェックキャラクタ検証



<OFF>



ON

チェックキャラクタ送信



<OFF>

(チェックキャラクタ検証=ON との組み合わせで、送信が OFF になります)



ON

最小読取桁数 (Default:01h)



<01h-50h>

最大読取桁数
(Default:50h)

<01h-50h>

※h=16 進数

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 10 桁の場合=0・A・Confirm





3.5 Code 39

フォーマット



<Standard Code39>



Full-featured Code39

スタート/エンドキャラクタ送信



<OFF>



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-32h>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-32h>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 1 桁の場合=0・1・Confirm



3.6 Codabar (NW7)

読取許可



OFF



<ON>

Code ID (Default::K)



<20h-7Eh>

チェックキャラクタ検証



<OFF>



ON

チェックキャラクタ送信



OFF

(チェックキャラクタ検証=ON との組み合わせで、送信が OFF になります)



<ON>

最小読取桁数 (Default:06h)



<01h-50h>

最大読取桁数 (Default:50h)



<01h-50h>

※h=16 進数

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 18 桁の場合=1・2・Confirm





3.6 Codabar(NW7)

スタート/エンドキャラクタタイプ



<ABCD/ABCD>



abcd/abcd



abcd/tn*e

スタート/エンドキャラクタ送信



OFF



<ON>

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-7Eh>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-7Eh>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 3 桁の場合 = 0・3・Confirm



3.7 Code 93

読取許可



OFF



<ON>

Code ID Default:(L)



<20h-7Eh>

チェックキャラクタ検証



OFF



<ON>

チェックキャラクタ送信



<OFF>



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-7Eh>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-7Eh>

最小読取桁数 (Default:03h)



<01h-50h>

最大読取桁数 (Default:50h)



<01h-50h>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 22 桁の場合 = 1・6・Confirm





3.8 Code 128

読取許可



OFF

Code ID (Default:M)



<20h-7Eh>



<ON>

チェックキャラクタ検証



OFF



<ON>

チェックキャラクタ送信



<OFF>



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00H-7Fh>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-7Fh>

最小読取桁数 (Default:03h)



<01h-50h>

最大読取桁 (Default:50h)



<01h-50h>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 15 桁の場合 = 0・F・Confirm



UCC/EAN128



<OFF>



ON

FNC1 Transmit



<OFF>



ON

FNC2 Concatenation



<OFF>



ON





3.9 Interleaved 2 of 5 (ITF)

読取許可



OFF



<ON>

Code ID (Default: N)



<20h-7Eh>

チェックキャラクタ検証



<OFF>



ON

チェックキャラクタ送信



<OFF>

(チェックキャラクタ検証=ONとの組み合わせで、送信が OFF になります)



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-7Eh>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-7Eh>

最小読取桁数 (Default:06h)



<01h-50h>

最大読取桁数 (Default:50h)



<01h-50h>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 30 桁の場合 = 1・E・Confirm



3.10 Industrial 2 of 5

読取許可



<OFF>



ON

Code ID (Default: O)



<00h-7Eh>

チェックキャラクタ検証



<OFF>



ON

チェックキャラクタ送信



<OFF>

(チェックキャラクタ検証=ONとの組み合わせで、送信が OFF になります)



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-32h>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-32h>

最小読取桁数 (Default:06h)



<01h-50h>

最大読取桁数 (Default:50h)



<01h-50h>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 25 桁の場合 = 1・9・Confirm





3.11 Matrix 2 of 5

読取許可



<OFF>



ON

Code ID (Default: P)



<20h-7Eh>

チェックキャラクタ検証



<OFF>



ON

チェックキャラクタ送信



OFF



<ON>

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-50h>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00)h



<00h-50h>

最小読取桁数 (Default:06h)



<01h-50h>

最大読取桁 (Default:50h)



<01h-50h>

桁数の設定方法:

付録 A の ASCII コード設定で任意の桁数 (16 進数) と “Confirm” をスキャンする。例: 36 桁の場合=2・4・Confirm



3.12 China Post Code

読取許可



<OFF>



ON

Code ID (Default: Q)



<20h-7Eh>

チェックキャラクタ検証



<OFF>



ON

チェックキャラクタ送信



<OFF>



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-50h>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-50h>

最小読取桁数 (Default:06h)



<01h-50h>

最大読取桁数(Default:50h)



<01h-50h>





3.13 MSI / Plessey

読取許可



<OFF>



ON

Code ID (Default: R)



<20h-7Eh>

チェックキャラクタ検証



<OFF>



MOD 11/10



MOD 10



MOD 10/10

チェックキャラクタ送信



OFF



<ON>

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-3Ch>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-3Ch>

最小読取桁数 (Default:06h)



<01h-50h>

最大読取桁数 (Default:50h)



<01h-50h>



3.14 Code 32

読取許可



<OFF>



ON

Code ID (Default: S)



<20h-7Fh>

チェックキャラクタ検証



<OFF>



ON

チェックキャラクタ送信



<OFF>



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-0Ah>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-0Ah>





3.15 Code 11

Reading



<OFF>

Code ID (Default: T)



<20h-7Eh>

チェックキャラクタ検証



<OFF>

チェックキャラクタ送信



<OFF>



ON



ON



ON

先頭の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-50h>

※h=16 進数

末尾の任意の桁数を切捨て (Default:00h)



<00h-50h>

最小読取桁数 (Default:06h)



<01h-50h>

最大読取桁数 (Default:50h)



<01h-50h>



【付録 A】

ASCII コード設定



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D



E



F



Y



N



Confirm

ASCII コード設定方法:

該当する 2 桁のバーコードを読み、次に Confirm を読んで確定します。

(1 桁の 16 進数の場合は先頭に 0 を入れる)





【付録 A】

ASCII テーブル

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	G	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUM	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	}	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL



■旧バージョン(Ver.1.0*)からの変更箇所■

製品シリアルナンバー: 1247000000 以降、設定が一部変更となりました。それに伴いマニュアルの改編を行っております(Ver.1.21~)。
変更箇所は以下の通りです。

【設定方法の変更】

項目	旧 Ver.1.0*	新 Ver.1.2*	本書 ページ
ターミネータ (終端データ)	「CR+LF」 設定あり	「CR+LF」設定なし ※ポストアンブル付加に より設定可能	P3

【初期設定値の変更】

対象コード 項目	旧 Ver.1.0*	新 Ver.1.2*	本書 ページ
Codabar(NW7) 最小読取桁数	02h	06h	P17
Code93 最小読取桁数	00h	03h	P18
Code128 最小読取桁数	00h	03h	P19
Interleaved 2 of 5(ITF) チェックキャラクタ送信	ON	OFF	P21
Interleaved 2 of 5(ITF) 最小読取桁数	04h	06h	P21
Industrial 2 of 5 最小読取桁数	00h	06h	P22
Matrix 2 of 5 最小読取桁数	02h	06h	P23
ChinaPostCode 最小読取桁数	00h	06h	P24
MSI/Plessey 最小読取桁数	02h	06h	P25
Code11 最小読取桁数	02h	06h	P27

※h=16 進数